

## 平成26年度 第1回鶴岡市健康なまちづくり推進協議会（会議録）

- 日 時 平成26年10月9日 午後1時30分から
- 会 場 鶴岡市ドリームスタジアム
- 次 第 (1) 保健行動計画について  
(2) 平成25年度保健事業の実施事業について  
(3) 平成26年度新規事業・重点事業について
- 出席委員  
鈴木伸男（会長）、千田洋子（副会長）、秋山美紀、斎藤邦夫、松田徹（水口代理出席）、七森玲子、五十嵐裕次郎、小林達夫、佐藤しおり、荒澤和子、板垣葉子、三浦直人、原田靖子、曾野部由香里、小池正純
- 欠席委員  
荻原聡、山本信孝
- 市側出席職員  
健康福祉部部長今野和恵、藤島庁舎市民福祉課長 丸山隆逸、羽黒庁舎市民福祉課長 國井儀昭、温海庁舎市民福祉課長 石塚みさ、健康福祉部健康課長 原田真弓、同課課長補佐 小野寺弘、同課課長補佐兼保健指導主査小林まゆみ、同課母子保健主査 齋藤恵美、同課母子保健主査 志田仁美、同課成人保健主査 増田富美子、同課成人保健主査 山口えみ、同課高齢保健主査碓氷ひろ子、同課保健総務係長 小林学
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 0人

### 1 開 会

#### 事務局（小野寺）

定刻になりましたので、ただいまから、26年度鶴岡市健康なまちづくり推進協議会を開催いたします。暫時の間、進行を務めさせていただきます健康課の小野寺と申し上げます。どうぞよろしくお願ひ致します。開会に先立って行われます委嘱状の交付がありますが、資料と一緒に各自テーブルに配布させていただきましたので、交付式は省

略させていただきます。それでは次第に従いまして進めさせていただきたいと思ひます。それでは次第にありますように挨拶ということで、今野健康福祉部長よりよりご挨拶を申し上げます。

今野健康福祉部長

皆さんこんにちは。健康福祉部の今野と申します。どうぞよろしくお祈ひします。開会に先立ちまして一言ご挨拶をさせていただきます。本日はお忙しいところ、またこの会議では初めてのドリームスタジアムの会議室と言うことで戸惑われた方もいらっしゃると思ひますが、平成26年度健康なまちづくり推進協議会にご出席いただきましてありがとうございます。日頃より本市の保健行政につきましてご指導、ご協力いただきまして感謝申し上げます。また今年度は2年に一度の委員の改選の年に当たりまして、新たに5名の方が委員に加わっていただいたところであります。引き続きお引き受け頂いた皆様を含め本協議会の委員をお引き受けいただきましてありがとうございます。この協議会は市民一人一人が健やかに暮らす健康福祉社会を目指して心と体の健康増進を図るため、健康増進法に基づき設置されたものでございます。健康施策全般にわたりご意見をいただき市の健康行政に反映させていただいてお祈ひします。昨年度作成しました保健行動計画は本市の健康施策の基本指針と言うべきものですが、この作成作業におきましても貴重なご意見、ご提言を頂きましてありがとうございます。

さて、10月の1日でしたが国が2013年の健康寿命を発表しております。前回に比べて男女共伸びているとのことでありました。本市におきましても急激な少子高齢化の中、医療保険、介護保険、年金の社会保障制度を次の世代に継承してゆくためには健康寿命と平均寿命の差を少なくすることが重要でありますし、個人個人にとっても望んでいることではないかと思ひます。市としましても生涯現役、健康寿命の延伸に向けた施策を進めて参りますが、市民の皆様一人一人の取組があつて可能になるものと考えてお祈ひします。委員の皆様からは其々が所属する団体の取組などを教えていただきながら忌憚りの無い意見を頂きながら進めていきたいと思ひます。簡単ではありますが開催の挨拶といたします。

事務局（小野寺）

次第の3の委員紹介になります。

（各委員の所属及び氏名を紹介）

次第の4の役員選出に移ります。鶴岡市健康なまちづくり推進協議会設置要綱第5条1項の規定により会長、副会長を互選により定めとなっておりますがいかがいたしましょうか。（事務局に一任の声）

事務局一任との声がありましたので、事務局よりご提案させていただきます。会長に鈴木伸男委員、副会長に千田洋子委員にお祈ひしたいと思ひますがいかがでしょうか。

（拍手により選出）全会一致で選出されましたので役員席に移動お祈ひします。

次第の5の会長挨拶を鈴木会長お祈ひいたします。

鈴木会長

会長を拝命いたしました鈴木でございます。どうぞよろしくお祈ひします。実はここへ来る際職場を出る時のエピソードがあります。私、ドリームスタジアムに居ますと

職員に言ったところ、今日は何の試合ですかと聞かれました。いや、試合でなく会議だと言いましたら、グラウンドで会議するんですかと言われました。言ってみれば皆そのように思うのかもしれませんが。スタジアムの中にこんな立派な会議室があるとは知りませんでした。さて、台風18号とか噴火とか色々な災害が起りましたが、一方で日本人科学者3人がノーベル物理学賞を受賞しました。今朝の新聞に白熱灯が20世紀を照らす、21世紀はLEDが照らすと一文が載っていました。おそらくLEDが爆発的に売れるのではないかと思います。私の挨拶はこの程度で、今日は実りある会議にしたいと思いますので活発な協議をお願いいたします。

事務局（小野寺）

次第6以降につきましては設置要綱第6条の規定に基づいて鈴木会長から進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

鈴木会長

それでは次第6の説明について事務局よりお願いします。

（事務局より保健行動計画について説明）

はい、ありがとうございます。質問はまとめて受けます。それでは（2）平成25年度保健事業、（3）平成26年度新規事業・重点事業について説明してください。

（事務局より平成25年度保健事業、平成26年度新規事業・重点事業について説明）

はい、ありがとうございました。これで保健行動計画、平成25年度保健事業、平成26年度新規事業・重点事業の説明をしていただきましたが、これからご質問或いはご意見をお聞きしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。内容が多岐にわたって複雑なところもありますが、皆さん方日頃感じておられる事も含めてご意見をお願いします。

私から質問を幾つかさせていただきます。子宮頸がんワクチンの副作用でいろいろ問題があるようで強制ではなくなったようですが、現在の接種状況はどんな具合ですか？

事務局（増田）

25年からは積極的な接種は控えています、25年度は352人の人数になっております。

鈴木会長

前年24年度に比べれば大幅にダウンしたわけですね。確かに副作用が気になりますが、接種を控えることによって今の中学生、高校生が10年後、20年後子宮頸がんの発症率がどうなるかも気になります。2つ目の質問ですが、がん検診の受診率が目標でさえ30何パーセントと決して高くないですが、受けていない人達の状況は全く判らないですが、全く検診を受けない人達のがん等の発症率等の状況は行政では掴んでいないのでしょうか。

事務局（増田）

大変難しい質問ですが、昨年度子宮がん、乳がんにつきましては、申し込んでいない人に対し葉書による受診勧奨を行ったのですが、色々反応がありましてその中で多かったのは、通院中や定期的に受診をしている、職場で受けている等の回答が多かったようです。その他の未受診の実態については詳しく把握できていない状況です。

鈴木会長

別の手段で検診を受けていたり、医者に掛かったときに検査していればよい訳ですが、自分は健康なんだと検診を受けない人が私は心配です。うつ病予防の講演会を開催していますが、聴講者は一般の方ですか？

事務局（碓氷）

一般の方ではありますけれども、こちらの目的としては働き盛りの50歳から70歳以内の方から来ていただきたいので、自殺予防対策ネットワーク会議の関係機関や企業に

お願いしています。また、キャンペーンのチラシ配布などもその年代が多くいらっしゃると思われる店舗等をお願いしています。

鈴木会長

うつ病に関連して自殺が問題になると思いますが、9月12日の朝日新聞の社説に「知恵を集めて自殺予防を」とありました。荒川区での自殺未遂者への取組が載っていました。未遂者は再度繰り返す傾向があるということで4年前から対策を立て80人ほどに支援しており、その人たちからは自殺する人はいなかったという記事がありました。これは質問と言うよりも効果があるならばどうかという意見です。

事務局（碓氷）

私たちの方では普及啓発等に力を入れて進めている状況で、ケアの部分については国の方では自殺未遂に取り組むような施策を出してきて、県の方での研修会等に参加して研修を受ける機会があつて受講しています。今年、荘内病院からですが救急センターを受診した自殺未遂の人たちの現状を把握しているということを聞いております。その調査した結果から専門の医療機関との連携を図ろうとしているとの情報を得ております。

小林委員

特定不妊治療の関連で、若い年代でも子宮がんになっても、ニュースでは最新医療で子宮移植による妊娠を報じていましたが、子宮頸がん患者でも何とかなるのではないかと思ったのですが。

事務局（原田）

最新医療のご紹介を頂きましたが、まだ国県でも施策的には触れておりませんので、この度記載しております子宮頸がんワクチンはあくまでがん予防であり不妊治療との関わりが今後出てきた場合はその際に皆様にご紹介したいと思います。

松田委員代理（水口）

心の健康づくりで自殺の話が出ておりますが、朝日新聞で自殺が少ない街と言う様な記事で、都会のように隣の人がどんな人か知らないとか多様な価値観を持つ人が多く他人と比較することができないような街は自殺が少ないというようなことが載っていましたが、鶴岡では、防災等を含め地域の結びつきやコミュニティを強化する方向にすすめているので、保健所の中でもこんな方向は現実的でないのではどうしたら良いのかという話になっています。それから昨日、国別の自殺者の人数がでていましたが日本は18位、先進国で4番目ということです。韓国が1番でリトアニア、ロシアと続いています。日本はストレスの多い国だと思っています。保健所でも対策を色々や

っておりますが、有効な手立てが見つからず、県にも何か良いアイデアがあれば教えて頂きたいと思っております。私も以前の職場で自殺未遂に関わった経験がありまして自殺予防がいかに難しいか良くわかっております。

市でも色々取り組んでおられるようですが、良い対策があれば保健所にも教えて頂ければと思っております。

小林委員

私は地区社会福祉協議会の仕事もしているのですが、個人情報保護法が壁になって、地域の世帯等の情報を把握するのが難しくなっているため、何とかできないかと思っております。

事務局（原田）

ご本人の了解がない場合でも、生命等に係る様な場合は個人情報を開示・活用できるということでやっております。

秋山委員

自殺に関しては経済的な社会基盤的な面、健康面、人間関係など本人の抵抗力を高めるために、本人の考え方や周囲のネットワークやコミュニティで細かく関わってくれる人がいて、人間関係を含めたコミュニティ全体の中に居場所を見つける事が大切なのかとも思いました。

鈴木会長

参会の委員の皆様には発言があまりないので、今回は委員の方より一言ずつ発言お願いいたします。自分の職場や自分の考えていること等何でもいいです。

齋藤委員

最近一人暮らしをされている方が増えていますが、認知症等で成年後見人のお世話になって最後を看取られて亡くなるというケースが急に増えてきたと感じています。高齢の一人暮らしの理由は頑固で付き合いが悪い等、様々ですが、近場に親族が居るのに成年後見人の世話にならないように親族との付き合いが何とかならないのかなと思っています。私は身内が見てくれると言ってくれますので安心しています。

佐藤委員

禁煙の事で、公共施設の禁煙が増えてきているようですが、建物から一步出れば喫煙していいのか、例えばこの運動公園では建物の外でも運動する人がいますし、武道館も入口一步出たところに大きな灰皿があって、出入りする子ども達に影響が無い、離れた所に移した方が良いのではないのでしょうか。家の子の小学校では、今年から運動会などで子供たちに影響が無いよう遠く離れた所に置いています。建物外の灰皿は、吸わない人達に影響の無い場所を選んでいただきたいと思っております。

五十嵐委員

私もウォーキングで水分補修しているところで煙草の煙の影響を受けています。スーパー健康づくりサポーター喜楽喜楽で会長をしており、ヘルスアップセミナー受講のOBのメンバーの構成で会員は現在44～45名です。ヘルスアップセミナーが終わった人たちが、フォローアップセミナーを受講するお手伝いをする事で自分たちの健康維持も図っています。

荒澤委員

すこやかネットワークから来ています。就学時健診で講演をしたりしていますが、若い母親達に色々な情報が流れているので、それに飛びつくだけでなく子育てに関する自分の信念を持ってどういう子育てをするのか考えてみてくださいと言っていますが、自分や自分の子供のことしか考えられない親が目立っているように感じます。もちろん体の健康も大事ですが心の健康も同時進行していけたらよいかと感じます。

小林委員

健康のために煙草はすいませんし、アルコールの取り過ぎを考えて、日本酒も水割りで飲んでいきます。

三浦委員

保健行動計画の事で気が付いたことですが、ゲームなどで目の悪い子が多くいます。視力についても触れた方がいいのではないかとということが一点と花粉症などアレルギー対策についても必要ではないかということです。

板垣委員

五学区の介護ボランティアをしています。集まりの会場がコミセンの2階で登るのが大変だが、施設の改修も予算がつかないのでできないとのことでした。集まっている方の一人の食が細くなってきていて、後で病気が分かったというようなこともあり、日頃から顔をみていればそういうことにも気づきやすくなると感じました。

七森委員

ゲートキーパー研修を昨日職員にしたところですが、16人の出席で鶴岡病院の先生からもお話を聞きました。もしまた機会があれば開催してもらいたいと思いました。

松田委員代理（水口）

団塊の世代が11年後に後期高齢者になり1.5倍になります。その中で健康で最期を迎えるにはどうしたらいいか、また病院では収容しきれないで在宅で最期を迎えることになると思います。県でも在宅福祉、在宅医療を進めたいと考えております。

原田委員

今年新しく委員となりました。養教部会の方でも肥満度の新しい計算基準についての取組を協議しているところでして、この協議会も参考にしていきたいと思います。

曾野部委員

今回初めて参加させていただきました。私の職場の障害者施設も高齢化が進んで認知症の方が増えています。認知症の方で食事を取らない方がいて栄養を摂るためにもいかに食べていただくか頑張っています。

小池委員

薬剤師ですので高齢者の方の薬の飲み方について等、市民の皆さんにお話しできます。ご要望があればお声をかけて頂ければと思います。

千田副会長

うちの孫は就学時健診の時に歯の数が少ないと言われたのですが、その時説明があれば安心できたのですが無かったので親としては心配していました。

ヘルスアップセミナーは間隔を空けたら再受講できるようにして頂ければと思います。

秋山委員

健康寿命の延伸が重要であるとの話がありましたが、生きがいをもち続けることが必要であると同時に参加の手段も一緒に考える必要があると思っています。高齢者福祉施設でボランティアをしているご自身も高齢の方の話聞いたのですが、こういうことに参加したいと思っている人は他のもいるのだが参加する足が無いとのことでした。まちづくりと言う視点から移動、交通、住まいというものも見ていければよいのではないかと思います。

鈴木会長

皆さんの色々な意見ありがとうございました。

委員の発言を一通り聞けましたし、予定の時間にもなりましたので、本日はこれで終了します。ご苦労様でした。

事務局（小野寺）

市民健康のつどいなどの今後の健康事業がありますのでご案内します。

次回の開催は年明けに開催いたしますのでよろしくお願ひします。

本日はお忙しいところありがとうございました。